

# 地熱資源開発にかかる調査について

令和6年2月20日

電 気 課

地熱資源開発にかかる令和5年度の調査概要および令和6年度の事業計画について、ご報告します。

## 1 立山温泉地域における調査

### (1) 令和5年度の調査概要

事業の方向性を探るため、深い場所の地質構造を明らかにする開発中の新技術等を広く調査し、当地域への適用効果を検討した。

### (2) 令和6年度の事業計画

既存の調査井での地熱発電の可能性を検討するにあたり、光ファイバーセンサを用いた新たな探査技術について有効性が期待できるため、実証実験段階にあるこの新しい技術の開発状況を注視しながら、当地域で活用する方策について検討を続ける。

## 2 バイナリー発電導入の可能性調査

### (1) 令和5年度の調査概要

熱水の温度が比較的低い100℃前後でも発電できるバイナリー方式による小規模な地熱発電の可能性を探るため、既存資料や現地を調査したところ、魚津市内において導入可能性があるとの結果が得られた。

(なお、今回調査では、他の事業者が調査したことのある地点(宇奈月、立山山麓)は除外した。)

### (2) 令和6年度の事業計画

地域の温泉資源を枯渇させないこと、また、関係者の理解や協力を得るための科学的根拠が必要なことから、魚津市内で地下に熱水が貯留している可能性の高い場所を推定するため、専門的な調査(地表調査)を実施する。